

平成28年度第1回青梅市協働事業市民推進委員会議事録

平成28年5月10日

災害対策本部室

出席委員7人、欠席委員3人

1 あいさつ

市民部長あいさつ

川崎委員長あいさつ

2 報告事項

(1) 平成28年度市民提案協働事業について

事務局より報告

(2) 平成28年度市民提案協働事業応募状況について

事務局より報告

委員：行政テーマに対する説明会はしているのか。

事務局：広報、ホームページで周知しているのみ。

委員：オリンピック、パラリンピックのテーマは大きなテーマであるので、もう少しなかみをだしたほうがいいのでは。

委員：どんな団体でもいい。担当課からは関係団体に働きかけはしていたのではないか。

委員長：手作り甲冑隊はどんな活動をしているのか。

事務局：段ボールで甲冑を作成し、その甲冑をきてイベントに参加をしている。

委員：習慣活動を習慣化させる介護予防体操教室は申請が初めてなのか。

事務局：そうである。

委員：青梅林業研究グループも申請は初めてなのか。

事務局：市と協働で事業は実施しているが、市民提案協働事業での申請は初めてである。

委員：障がい者スポーツ普及推進事業は行政テーマ「青梅ならではのオリンピック・パラリンピック推進事業」にからまないのか。

事務局：この団体に限ると難しいのでは。

委員長：市民提案協働事業が発展してほしい。

3 協議事項

(1) 市民提案協働事業審査委員の選出について

川崎委員長、清水委員、高橋委員、楯島委員

4 その他

委員：新任職員研修はどうだったか？

事務局：協働の入口として事例をいれながら協働について説明をした。

また地縁団体（自治会）についても説明をした

委員：何人いたか。

事務局：24人

委員：新任職員なので、事例をいれたほうがいい。

事務局：市の事業で出前講座があり、平成28年度メニューに「ボランティアってなあに」をいれさせてもらった。

委員長：メニューは決まっているのか。

事務局：決まっている。メニューにないものは、相談となっている。

委員長：協働はないのか？

事務局：考えたが、まずはボランティアからとした。

委員：担当課と一緒にこんなことしたと報告できるといいのでは。

他市の審査員をしているので提案事業も定着しているのかと思う。地域によっては、申請が減っている、応募がない、同じ団体の申請の声もあるが、団体と行政で報告しているところは応募がある感じがする。地縁組織と一緒に、3者の協働ができないかと考えているところもあるが、自分たちだけで何がやりたいか考えるのはむずかしい。行政、自治会、老人会、子ども会が協働できるといい。

委員長：行政と一緒になりにくい部分がある。

委員：どこの地域でもある。担当課と団体が一緒に報告できるといい。

事務局：今までに一緒に報告したものもあった。

委員長：働きかけてほしい。

事務局：「親子が木と共生していく木育事業」で、少し余分につくった木のおもちゃを健康課の母親学級で配布もした。

委員：平成28年度市民提案協働事業は新規の団体の申請があつて

よかった。

委員長：平成28年5月26日に開催する事業報告会、公開プレゼンテーションどなたでも傍聴できるので、委員の方もきてほしい。

委員長：行政と団体が一緒に研修ができたらいい。

委員：何回か研修を行っていき、お互いをわかっていければいいのでは。

委員長：本日の会議を終了します。ありがとうございました。